

アル・アクサ洪水第753日：イスラエルがガザで虐殺を続け、支援を遮断する一方、ヨルダン川西岸地区では入植者による攻撃が激化

Palestine Chronicle, 2025年10月26日、脇浜義明訳



イスラエルはガザで恐ろしい虐殺を続けている。(Photo: via QNN)

主要事項

* ガザ市民防衛団はイスラエル兵が、イスラエルがガザ回廊に設置した「イエローライン」を間違って超えるか近づく民間人を、警告もしないで意図的に射殺していると発表した。

* 占領地西岸地区では、ナブルスからヘブロンまで、イスラエル軍が町々を襲撃し、入植者が放火と投石攻撃し、暴力激化の一晩となっている。

* ガザのパレスチナ保健省によれば、2023年10月7日からのイスラエル軍攻撃の犠牲者数は、死者68,519人、負傷者170,382人で、その多くは女性と子どもである。

最新情報

10月26日 10:11pm

* パレスチナ・クロニクル：イスラエルの新聞ハアレツの調査によると、イスラエル軍は、国境から数百メートル離れたガザの場所に、大量の廃棄物、瓦礫、建築廃材を投棄している。

* カン：治安筋の話では、4人のイスラエル人人質が埋まっている場所は依然として不明である。

* アル・ジャジーラ：医療筋がアル・ジャジーラに語ったことによると、西岸地区アル・ハリールの南にあるメイタール検問所でパレスチナ人1人がイスラエル軍に殺害された。

* P R C S (パレスチナ赤三日月社)：西岸地区ジェニン南のカバティヤで、イスラエル軍の発砲でパレスチナ人2人が負傷した。

10月26日 8:40 pm

*パレスチナ・クロニクル：パレスチナ人民への正義の実現を、影響力がある国の政府の意思に任せることはできない。正義は人民レベルで要求し、築き上げ、戦い取るものだ。「パレスチナ人のための法」(L 4 P)の運営評議会理事の[アニー・シャ・パテルの小論](#)を読みたい。

*カン：治安筋の話によると、米国政府は、人質遺体が全部返還されて埋葬されるのを待たずにガザ合意に第二段階に進むことを望んでいる。

10月26日 7:57 pm

*パレスチナ・クロニクル：入植者が組織的な土地押収とパレスチナ農地への攻撃を激化する中、イスラエル占領軍は西岸地区全域で大規模襲撃を展開し、パレスチナ人13人を身柄拘束した。

10月26日 7:45 pm

*パレスチナ・クロニクル：イスラエルはこの数日間レバノン南部と東部をドローン攻撃し、多数の民間人を殺害した。これは国連決議違反であり、地域紛争を拡大させる恐れを高めている。

*ロイター通信：イタマル・ベン・グヴィル国家安全保障相は、週に4回もネタニヤフ首相を裁判所に出廷させることは、現在進行中の安全保障及び政治的課題に関する首相の職務遂行を妨害することで、国家への攻撃に等しいと言った。

10月26日 6:23 pm

*パレスチナ・クロニクル：法律家、研究者、人権擁護活動家らで構成される市民社会運動である「ガザ人民法廷」は、イスラエルはガザでパレスチナ人にジェノサイドを行っているとして決定した。

*パレスチナ赤三日月社：西岸地区のアル・ビレ市のアル・アマリ難民キャンプをイスラエル占領軍が襲撃、イスラエル兵の発砲でパレスチナ人2人が負傷した。

*チャンネル12：ガザ国境付近で、「作戦上の交通事故」と報告された事故で、イスラエル兵12人が負傷した。

*パレスチナ・メディア：パレスチナ被拘禁者・元被拘禁者問題委員会は、イスラエルのネゲブ刑務所のパレスチナ人囚人たちが刑務所当局による殴打、辱め、食事の取り上げ、医療拒否で迫害されていると報告した。

*イスラエル・メディア：イスラエル軍のエヤル・ザミール参謀総長は、超正統派の若者が入隊しないので、ギヴァティ旅団の「トメル」と呼ばれる超正統派部隊の解散を命じた。

*アル・ジャジーラ：ガザ回廊北部でイスラエル軍車両2台が衝突して、イスラエル兵2人が負傷した。

10月26日 6:22 pm

*アル・ジャジーラ：パレスチナ自治政府(PA)のマフムード・アッバス大統領は、PLO(パレスチナ解放機構)の議長職が空席となった場合、PLO執行委員会副議長がその職務を行うこととする憲法上の規定を布告した。

*チャンネル12：ネタニヤフ首相は、「イスラエルは独立国で、安全保障に関する決定権は我々の手の中にある。どの国の部隊がガザの国際部隊に加わるかは、我々の同意が必要である」と言った。

10月26日 1:50 pm

*パレスチナ・クロニクル：ガザの死者数が68,000人を超えて、ガザの生活状況が悪化する中、エジプト工兵部隊が、停戦協定に基づいて、イスラエル人遺体の捜索と発掘のためにガザ回廊に入った。

10月26日 1:33 pm

*マアリブ紙：リクード党役員会は、ドゥルーズ派コミュニティから100人の新規役員を受け入れよという異例の要請を検討する。これは、最近のドゥルーズ教徒のリクード入党の波を受け、彼らの党内の代表性を高める作業の一環である。

*パレスチナ・メディア：パレスチナ囚人クラブは、イスラエル占領当局が2人の少女とガザで身柄拘束した少女1人を含む49人のパレスチナ人女性を拘束しており、彼女たちは刑務所や尋問センターで組織的体系の人権侵害を受けていると発表した。

*パレスチナ抵抗委員会声明：抵抗委員会は、シオニストが執拗な停戦違反を続けていると発表した。抵抗委員会は、占領軍の主張は嘘だらけで、誤解を招くように仕組まれたもので、シオニスト政権の悪意を露呈していると述べた。「昨夜、

ガザ回廊中部でサラヤ・アル・クッズ旅団の司令官を標的にした攻撃の結果にはイスラエルの全責任があると非難し、仲介者はイスラエルの合意を遵守させ、殺害、虐殺、暗殺政策を停止させるよう圧力をかけるべきだ。」

＊イスラエル・メディア：イスラエル政府は外国人記者のガザ入域許可に関して検討しており、1か月以内に結論を出す」と発表した。

＊ガザ市民防衛団：防衛団チームがガザ市南西部のテル・アル・ハワ地区でパレスチナ人2人の遺体を収容した。

＊アル・ジャジーラ：情報筋がアル・ジャジーラに語ったところによると、今夕赤十字チームがガザ市東のイスラエル軍が管理する「イエローライン」へ向かい、イスラエル兵人質の遺体を搜索する。

＊イスラム聖戦：イスラエル占領軍が、昨日ヌセイラト難民キャンプのサラヤ・アル・クッズ旅団のメンバーが攻撃準備をしていたと主張して攻撃したが、まったくのウソの捏造である。このようなイスラエルの違反行為に責任を取らせるべきだと仲介者に求めた。また、パレスチナ人民には自衛権があり、敵の恣意的な暗殺行為を防ぐ権利があると改めて言った。

10月26日 11:23am

＊パレスチナ・クロニクル：ガザのハマスの指導者ハリル・アル・ハヤは、トランプ米大統領がガザ戦争終結を確認したと述べ、最近の米政府の発言は戦争が終わったことを改めて確認していると言った。彼は、アル・ジャジーラのアリ・アッダフリ記者のインタビューで、イスラエルは2年間の戦争で目的を達成できなかったと言った。

10月26日 11:09am

＊アル・ジャジーラ：パレスチナ自市政府（PA）の保安隊は、「正義のための弁護士」グループの代表ムハンナド・カラジャを、彼が旅行から帰ってきたところを逮捕した。彼は弁護活動と人権擁護活動のために、それに対するSNS上でのでっち上げ投稿による扇動キャンペーンで悩まされていた。

＊チャンネル12：ハマスは、戦争終結翌日からガザで権力を回復し、米軍の保護下で活動し、国際協議会に参加し、交渉のテーブルについている。2023年10月から2年経った今も、ハマスは消滅しておらず、むしろ現在の状況の中で主要アクターとなっている。

＊ガザ市：ヤヒヤ・アッサラージ市長は、これまで救援物資トラックがガザ市に入って来なかったために、市政業務が滞っていたと述べた。市長は、市政業務を強化するためには、現段階では、250台分の救援物資が必要で、井戸建設と水道の修復には1000トンのセメントが必要だと言った。

＊アル・カスタル・ニュース：イスラエル占領軍は、ラマッラーの北のジャラゾーン難民キャンプを襲撃し、13歳のモハンメド・アフマド・クルブを逮捕した。

＊ハアレツ：イスラエル軍はガザ回廊周辺のキブツや入植地から出た大量のゴミや建築廃材をガザ回廊に持ち込んだ。ガザ回廊周辺地域で建設作業などの廃棄物の捨て場として、ガザ回廊の数百メートル奥までを指定した。

＊イスラエル・メディア：イスラエル安全保障内閣のメンバーのゼエブ・エルキンは、ハマスは人質遺体を掘り起こしてさらに返還するだろうと言った。そうしない場合は、軍事的措置が必要になるだろうと言った。

＊イスラエル・メディア：イタマル・ベン・グヴィル国家安全保障相はトランプ大統領に敬意を表しつつも、「イスラエルは主権を持つ独立国家であり、米国の保護下にいるのではない」と言った。彼は停戦への反対を改めて表明し、本来の目的は「ハマスの排除」であったが、ハマスは今もガザ回廊の半分を支配していると言った。彼は、人質返還よりもハマス排除を優先すべきだったと言った。

10月26日 8:44am

＊ニュースのまとめ

- ・医療状況改善なし；WHO は、停戦以降「ガザへ入る食料と医薬品の量はあまり改善されていない」と発表した。
- ・住宅破壊；イスラエル軍はガザ東部で4度目の住宅破壊攻撃を行った。現場では大きな爆発音が聞こえたと報告された。
- ・ハーン・ユーニスで銃撃；イスラエル軍車両がハーン・ユーニス東部で激しい銃撃を行った。
- ・漁師への攻撃；イスラエル海軍の軍艦がガザ市沖でパレスチナ人漁師の漁船を銃撃した。
- ・トランプ発言；トランプ米大統領はクアラルンプールのASEAN 首脳会議での演説で、ガザ戦争終結の合意に署名できたことを米国は誇りに思い、マレーシアなど各国が参加したことに感謝すると述べた。

- ・ベン・グヴィル、米国の「保護」を拒否；イタマル・ベン・グヴィル国家安全保障相はトランプ大統領に敬意を表しつつも、「イスラエルは主権を持つ独立国家であり、米国の保護下にいるのではない」と言った。彼は停戦への反対を改めて表明し、本来の目的は「ハマスの排除」であったが、ハマスは今もガザ回廊の半分を支配していると言った。
- ・ラビ、釈放パレスチナ人捕虜の殺害を呼びかけ；アル・ジャジーラは、サフェドの主席ラビのシュムエル・エリヤフが、イスラエル人（民間人、軍人、治安関係者）に、捕虜交換で釈放したパレスチナ人囚人を殺害するように呼び掛けたと報じた。
- ・ICJ 訴訟への国際的支持；マレーシアとブラジルは、ハーグの国際司法裁判所にイスラエルをジェノサイドで訴えた南アフリカへの支持を表明した。
- ・生徒への攻撃；西岸地区ナブルスの北西の町ブルカで、学校へ向かうパレスチナ人生徒に、イスラエル軍は音響弾と催涙弾を発射した
- ・エルサレム近郊で襲撃；パレスチナ赤三日月社の報告によると、エルサレム北部のアッラム壁付近で、イスラエル軍の発砲でパレスチナ人が負傷した。
- ・ラマッラーで襲撃；イスラエル軍は、ラマッラー北部のジャラズン難民キャンプへ侵攻し、住宅を破壊した。
- ・大量逮捕；イスラエル軍は、イスラエル国内で就労する目的で入国しようとしていた労働者15人を含むパレスチナ人19人を逮捕した。

10月26日 12:02am

*カン：イスラエル治安筋は、「イスラエル軍は占領している『イエローライン』境界内でイスラエル人人質の遺体を捜索している」と述べた。

*イスラエル・ハヨム紙：イスラエル治安関係高官はイスラエル・ハヨム紙に対し、米政府がガザの武装解除につながるメカニズムを構築できるかどうか疑問だと語った。治安筋は、ガザ回廊を完全支配して軍事政権を樹立することが唯一のガザ武装解除の道だと言った。

*イスラエル・メディア：ベザレル・スモトリッチ財務相は、「我々は、西岸地区にイスラエル主権を確立し、パレスチナ国という危険な発想を排除することが重要だと表明する。ネタニヤフ首相は、トランプ大統領との会談では、西岸地区併合の話題を避けた。西岸地区併合がイスラエルの存続とアイデンティティに不可欠であることを理解すれば、トランプ大統領は併合に関する考えを変えるであろう」と語った。

10月25日 11:57pm

*パレスチナ・クロニクル：イスタンブールで開催されたガザ人民裁判の閉会セッションで、パレスチナ人ジャーナリストで作家のラムジー・バラードは、ガザは世界の道徳心を試すリトマス試験紙だと述べ、世界はパレスチナ人が自由を勝ち取るまでパレスチナと連帯すべきだと訴えた。

10月25日 9:58pm

*米国メディア：トランプ大統領は、ガザ安定化部隊は間もなく態勢が整うだろうと述べた。また、必要ならばカタールが平和維持部隊をガザに派遣すると付け加えた。

*カン：イスラエル治安関係高官はイスラエル公共放送（カン）に対し、「我々の手は縛られており、米政府が、事実上、ガザにおけるイスラエル軍の作戦を指揮している」と述べた。また、治安筋は、米国の承認なしにはガザでいかなる作戦も実行できないと言い、ハマスが人質遺体の返還を拒否し、交渉を引き延ばしていると非難した。

*ガザ市民防衛団：ガザ市南部のサブラ地区で住宅ビルが倒壊し、幼い少女が死亡し、他に何人かが負傷した。

*パレスチナ・メディア：ヌセイラト難民キャンプ内にあるアル・アウタ病院は、ガザ回廊中部でイスラエル軍が民間人車両を空爆し、パレスチナ人4人が負傷したと発表した。

*イスラエル軍：軍はヌセイラト攻撃について声明を出し、差し迫った攻撃を計画していたイスラム聖戦のメンバーを攻撃したと言った。

*米国務長官：ルビオ国務長官は、米国チームがガザへの多国籍軍派遣を承認する国連決議乃至は国際協定の策定に取り組んでいると言った。彼は、多国籍軍に関する提案や申し込みが米国に寄せられており、明日カタールとの会談で協議すると付言した。

